

加古川市平和祈念展の開催について

1 概要

戦後80年を迎え、広く市民が平和について考え、平和への想いを次世代へ継承していく機会とするため「加古川市平和祈念展」を実施します。

平和祈念講演会、平和関係資料の展示、平和作文コンクール入賞者の表彰式を行うほか、戦争犠牲者を追悼するための献花台も設けます。

(1) 日 時 令和7年11月29日(土) 10時から16時まで

(2) 場 所 SHOWAグループ市民会館(加古川市民会館)
中ホール 及び 中ホールホワイエ

(3) 内容等

① 展示エリア(中ホールホワイエ)

- ・加古川(尾上)飛行場パネル展(知覧特攻平和会館からの借用資料を含む)
- ・平和学習パネル展「被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵」
「広島を知ろう! 8月6日、きのご雲の下で」「サダコと折り鶴」
- ・広島・長崎原爆被爆写真パネル展
- ・VRゴーグルによる被爆被害等の疑似体験
- ・平和作文コンクール 令和7年度入賞作品の掲示 ほか

② イベント・献花エリア(中ホール)

- ・平和作文コンクール表彰式(11時~11時45分)
小・中学生から募集した平和に関する作文の優秀作を表彰する。
- ・平和祈念講演会(14時~15時)

講師 板津昌利氏(知覧特攻平和会館 初代館長 故 板津忠正氏ご子息)

尾上にあった旧陸軍の加古川(尾上)飛行場を経由して知覧から出撃した特攻隊員であり、知覧特攻平和会館(南九州市)の初代館長である板津忠正氏の生きざまやエピソードを通して、戦争のない平和な世の中がいかに大切であるかを伝える。

【申込】11月4日(火)~

- ・献花 祭壇を設置し、戦没者へのメッセージを掲げる。

③ 一部展示の期間延長

- ・期間・場所 12月1日(月)~5日(金) 市役所新館1階 市民ロビー
- ・内容 知覧特攻平和会館からの借用資料、加古川(尾上)飛行場パネル、97式戦闘機模型 ほか

2 周知方法

- ・広報かがわ11月号、市ホームページ、市民会館イベントガイドに掲載
- ・戦没者遺族会、市内小中学生に案内
- ・町内会掲示板にポスターの掲示依頼 ほか



平和祈念展

世代を超えて
平和について考えてみませんか

【平和祈念講演会「1036～英霊よ安らかに～」】

14:00～15:00

講師：板津昌利氏（知覧特攻平和会館初代館長・故 板津忠正氏のご子息）

【平和を考える資料展示】

加古川（尾上）飛行場パネル展～知覧に残された特攻隊員最期の言葉～
被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵
被爆の現実を体験できるVRゴーグル など

【戦争犠牲者追悼の献花】

詳細は市ホームページを
ご覧ください▶



11/29（土）
10:00～16:00

場所：SHOWAグループ市民会館
（加古川市民会館）

入場無料・申込不要（講演会は申込必要）

※駐車場は「たんようカーパークつつじ（2時間無料）」を
ご利用ください。

※一部資料は、12/1（月）～12/5（金）まで加古川市役所新館
1階ロビーで展示します。

問合先 加古川市 総務部 総務課 079-427-9135

令和7年度
加古川市

平和祈念展

戦争を知ることは、いのちの大切さを知ること。

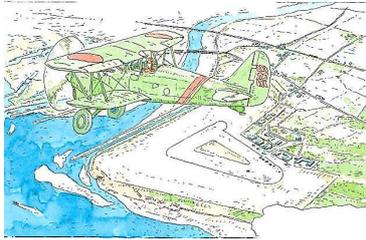
「平和祈念展」は、平和関係資料の展示と戦争犠牲者追悼の献花会場から成るイベントとなっています。

今を生きる私たちができることを考えてみませんか。

「加古川飛行場パネル展」

～知覧に残された特攻隊員最期の言葉～

昔、尾上に飛行場があったことを知っていますか。特攻隊員の真の姿やその思いに触れたことはありますか。



このコーナーでは、知覧特攻平和会館(南九州市)所有のパネルや、市で作成した加古川(尾上)飛行場を紹介するパネルなどを展示します。飛び立つ直前に家族へあてた手紙や、戦闘服に身を包み微笑む少年の姿は、私たちにどんな思いを投げかけてでしょうか。二度とこの悲劇を繰り返さぬために、大切な人を思いながら、ゆっくりとご覧ください。

VRゴーグルによる 原爆被害等の疑似体験

バーチャルリアリティによる原爆投下時の悲惨さや、現在の広島を疑似体験

広島市を訪れるきっかけとして、また、平和についてより深く考える機会としてもらうため、広島市が貸出しているVRをこの度、お借りしました。



被爆後の相生橋 出典:PEACE PARK TOUR VR

広島市役所ホームページ
(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/otomicb-omb-peace/fukko/1021099/1032782.html>)



VRゴーグルイメージ

体験時間:約5分

体験場所:SHOWAグループ市民会館 中ホールホワイエ
事前予約不要で先着順

戦後 80 年特別企画

平和祈念講演会

「1036 -英霊よ 安らかに-」

【講師】板津昌利氏

(知覧特攻平和会館初代館長・故板津忠正氏のご子息)

【講演時間】14:00~15:00(受付 13:30~)

【場所】SHOWAグループ市民会館 中ホール

「特攻を風化させてはならない」という父の意思を受け継ぎ、父の戦後 70 年の生きざまを語ることを通して、『特攻の真実』や『戦争のない平和な世の中がいかに大切か』を伝える。



申し込みは右の二次元コードか

電話にて(総務課 079-427-9135)

受付は 11/4(火)から

※当日受付可

「広島を知ろう！」

8月6日、きのご雲の下で」

広島に落とされた一発の原子爆弾がもたらした影響とはどのようなものだったのでしょうか。

小・中学生など若い世代へ向けたわかりやすい内容の展示です。

次世代を担う子どもたちへ戦争の恐ろしさや平和の尊さを伝える機会が減っている今、親子で語らいながらご覧ください。

上記の展示のほかにも、次の展示もしています。

- サダコと折り鶴ポスター
- 広島・長崎原爆被爆写真パネル
- 被爆体験証言者と高校生との共同制作による原爆の絵
- 令和7年度平和作文コンクール入賞作品
- 広島平和の親子バスツアー感想文集

来場記念品あり ※先着順

戦後80年特別企画

平和祈念講演会

1036 - 英霊よ安らかに -



提供：小林 伶子氏

令和
七年

11月29日(土) 14:00~15:00

※ 入場無料・当日申込み可

受付 13時30分から

対象者 どなたでもご参加いただけます
(要約筆記・手話通訳あり)

会場 SHOWAグループ市民会館（加古川市民会館）
中ホール（〒675-0031 兵庫県加古川市加古川町北在家2000番地）
※駐車場は「たんようカーパークつつじ（2時間無料）」をご利用ください。

講師 板津 昌利 氏

知覧特攻平和会館初代館長
故 板津忠正氏のご子息

「特攻を風化させてはならない」という父の意思を受け継ぎ、父の戦後70年の生きざまを語ることを通して、『特攻の真実』や『戦争のない、平和な世の中がいかにか大切か』を伝える活動（個人への伝承のほか、自治体の平和事業や各種団体での講演）を行っている。

申込 11/4(火)～

- ①氏名
 - ②お住まいの市町村
 - ③電話番号
 - ④年代 を
- 総務課まで「電話」か右記の二次元コードから「オンライン申請」にて申し込みください。



申し込みはこちらから

中ホールホワイエで「平和祈念展」を同時開催。
詳しくは、市HPへ



(加古川市HP)

若者たちが特攻で犠牲になった事実を
私たちは決して忘れてはならない

陸軍特攻隊員として加古川(尾上)飛行場を出発し、鹿児島県・知覧飛行場から出撃するも、エンジントラブルで徳之島に不時着。知覧で終戦を迎えた。戦後、沖繩戦で散華された特攻隊員の慰霊と資料収集に努め、ついには一〇三六名全員の遺影を集めた板津忠正氏。その生きざまについて語ります。

お問い合わせ・申込 電話：079-427-9135 メール：sou_soumu@city.kakogawa.lg.jp

主催：加古川市 総務部 総務課